

東日本大震災津波以降の災害復興等ボランティアの活動の状況について

1 東日本大震災津波に係るボランティア活動について

発災以降、県内で社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて活動したボランティアの延べ人数は、令和4年3月31日までに延べ57万人以上となっている。

年度	県内集計	宮古市	大船渡市	陸前高田市	釜石市	遠野市	大槌町	山田町	野田村	その他
H23.3	12,114	878	1,038	296	2,900	1,015	67	-	1,395	4,525
H23	334,927	19,985	27,545	96,798	36,979	56,408	51,356	25,155	11,806	8,895
H24	103,957	5,707	4,066	31,632	14,900	25,102	15,476	5,111	1,822	141
H25	36,962	1,896	1,852	2,031	11,050	11,837	4,292	2,352	1,652	-
H26	28,901	6,642	1,012	1,785	8,501	4,598	2,784	1,840	1,739	-
H27	19,150	3,821	762	1,464	6,323	1,896	1,758	1,753	1,373	-
H28	13,127	2,082	477	1,254	5,054	753	1,253	1,862	392	-
H29	7,725	1,112	366	663	2,975	480	600	1,268	261	-
H30	6,606	659	253	514	3,097	412	519	1,068	84	-
R01	5,276	870	275	267	1,744	226	307	1,480	107	-
R02	624	81	150	3	326	36	0	28	0	-
R03	663	107	199	0	144	200	0	0	13	-
合計	570,032	43,840	37,995	136,707	93,993	102,963	78,412	41,917	20,644	13,561

注1 市町村災害ボランティアセンターは、県内33市町村のうち25市町村に（沿岸部10市町村、内陸部15市町村）に設置された。すべての災害ボランティアセンターは、平成24年12月中に閉鎖した。

注2 災害ボランティアセンターを通じた活動人数は、災害ボランティアセンター開設していた平成23年3月から平成24年12月までの間で、44万2168人以上になる。

2 平成28年台風第10号災害に係るボランティア活動者数について

発災以降、県内で社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて活動したボランティアの延べ人数は、延べ2万4千人以上となった。

市町村	岩泉町	久慈市	宮古市	遠野市	大槌町	野田村	合計
参加者数	17,631	3,642	2,977	35	60	125	24,470

3 令和元年台風第19号災害に係るボランティア活動について

発災以降、県内で社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて活動したボランティアの延べ人数は、延べ6,400人以上となった。

市町村	宮古市	久慈市	釜石市	大槌町	山田町	岩泉町	田野畑村	普代村	野田村	合計
参加者数	1,239	1,778	1,480	28	864	32	206	698	168	6,493

4 令和4年8月の大雨災害に係る災害ボランティア活動について

発災以降、県内で社会福祉協議会のボランティアセンターを通じて活動したボランティアの延べ人数は、延べ380人以上となった。

市町村	一戸町	九戸村	合計
参加者数	378	5	383

5 今後の災害時における円滑なボランティア活動の実施に向けた取組について

(1) 「岩手県防災ボランティア活動推進指針」の策定

平成23年の東日本大震災津波、平成25年の大雨洪水災害における対応の課題を踏まえ、平

成 26 年 3 月に「岩手県防災ボランティア活動推進指針」を策定した。その後の平成 28 年の台風第 10 号の災害、令和元年度の台風第 19 号の災害において、県、県社協、NPO 中間支援組織との情報共有等により、被災地への効率的な支援が図られたことから、指針を一部改訂している。

【岩手県防災ボランティア活動推進指針の概要（基本的視点）】

- ① 平時における関係機関・団体のネットワークの構築
- ② 災害時における連携・協働体制の構築
- ③ 地域の「受援力」を高める取組の推進

(2) 岩手県防災ボランティア支援ネットワーク

行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体等を構成団体として、防災ボランティアの受け入れに関する役割分担や連携等のあり方を確認・協議するため、岩手県防災ボランティア支援ネットワーク連絡会議を設置している。

ア 構成団体の活動状況の情報共有会議の実施

イ 災害時の避難所運営支援に係るボランティア研修会の実施

- ・近年の全国的な災害時の福祉的ニーズ及び防災と福祉の連携などについて（講演／（一社）福祉防災コミュニティ協会・鍵屋 一氏）
- ・令和 4 年 8 月の大雨災害に係る災害ボランティア活動の事例発表（一戸町、一戸町社会福祉協議会、いわてNPO災害支援ネットワーク）

(3) 災害ボランティア設置運営研修等支援事業

災害時において、社会福祉協議会による災害ボランティアセンターが円滑に設置・運営されるよう平時からの準備として、次の取組を行う。（補助先：岩手県社会福祉協議会）

ア 市町村における災害ボランティアセンターの設置運営研修（10 か所）

イ 市町村ごとの「市町村域ネットワーク連絡会議」の構築を支援（10 か所）

(4) 災害ボランティアコーディネーター研修

災害時に行政、社会福祉協議会、NPO・ボランティア団体が円滑な連携と迅速な被災者支援につなげることを目的とした研修を行う。

ア 被災者の心理を理解し、接し方についてのロールプレイ（講義・演習）

イ 被災者のアセスメント、マッチング実施上の留意点（講義）

6 福祉ボランティア・福祉活動NPOの人材育成に向けた取組について

ボランティアやNPOが継続性を持ちながら活動していくためには、主体的に福祉活動に担う人材の養成が必要であることから、「ボランティア・市民活動センター」を設置し、次のような取組を行っている。（補助先：岩手県社会福祉協議会）

- ・ボランティア活動情報の提供
ホームページ「ずっぱりボランティアいわて」において、ボランティア活動及び活動支援の情報などを発信
- ・ボランティア体験 in いわての実施
子供から大人までを対象としたボランティア体験プログラムを実施
- ・ボランティア出前講座
企業や団体向けのボランティアに関する講話やキャップハンディ体験の実施
- ・ボランティア及び活動推進を担う人材の育成
地域福祉・ボランティアコーディネートに関するスキルアップを図る研修会の実施